CrimeInfo

世界死刑廃止デー企画

菊池事件の再審請求について

2026-27年の「世界死刑廃止デー」のテーマは「命のための物語」。ハンセン病を理由とした、憲法違反の「特別法廷」で言い渡された死刑判決が確定し、1962年に死刑が執行された菊池事件では、命の尊厳が、何重にも踏みにじられました。
現在、第４次再審請求の即時抗告審が福岡高裁に係属中の菊池事件について、長年、ハンセン病問題に取り組んでいる法学者からお話を伺います。

講師 **内田 博文** 氏（九州大学名誉教授）

1946年大阪府生まれ、京都大学大学院法学研究科修士課程修了、九州大学名誉教授、国立ハンセン病資料館館長（2021年から）。専門は刑事法学（人権）、近代刑法史研究。ハンセン病患者の権利擁護を中心とする医療基本法や差別禁止法の法制化の問題のほか、こどもの権利問題にも取り組んでいる。
厚生労働省第三者機関「ハンセン病問題に関する検証会議」（2003～2005年）副座長、同「ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会」（2006～2019年）座長代理、同「ハンセン病に係る偏見差別の解消のための施策検討会」（2021～2023年）座長を務めた。
主な単著に『刑法学における歴史研究の意義と方法』（九州大学出版会）、『ハンセン病検証会議の記録』（明石書店）、『日本刑法学のあゆみと課題』（日本評論社）、『自白調書の信用性』、『更生保護の展開と課題』（以上、法律文化社）、『治安維持法と共謀罪』（岩波新書）、『刑法と戦争―戦時治安法制のつくり方』『治安維持法の教訓―権利運動の制限と憲法改正』、『法に触れた少年の未来のために』、『医事法と患者・医療従事者の権利』（以上、みすず書房）、『感染症と人権―コロナ・ハンセン病問題から考える法の役割』（解放出版社）、『基礎から学ぶ、ハンセン病問題: 教訓を〝希望ある未来〟に生かすために』）現代人文社）など。

2026 10月30日(金) 14:00～16:00

会場 国立ハンセン病資料館 映像ホール
(東京都東村山市青葉町4-1-13)

西武池袋線 清瀬駅南口発 西武バス
「久米川駅北口行き ハンセン病資料館」下車
（所要時間 約10分 ）
西武新宿線 久米川駅北口発 西武バス
「清瀬駅南口行き ハンセン病資料館」下車
（所要時間 約20分 ）
JR武蔵野線 新秋津駅発 西武バス
「久米川駅北口行き 全生園前」 下車より徒歩（所要時間 約20分）

定員 先着 50 名
※要参加申込み
申込締切：10月28日(水)17時まで

申込みフォーム
https://www.crimeinfo.jp/2601030_form/

申込みフォーム

参加費 無料

主催：特定非営利活動法人CrimeInfo